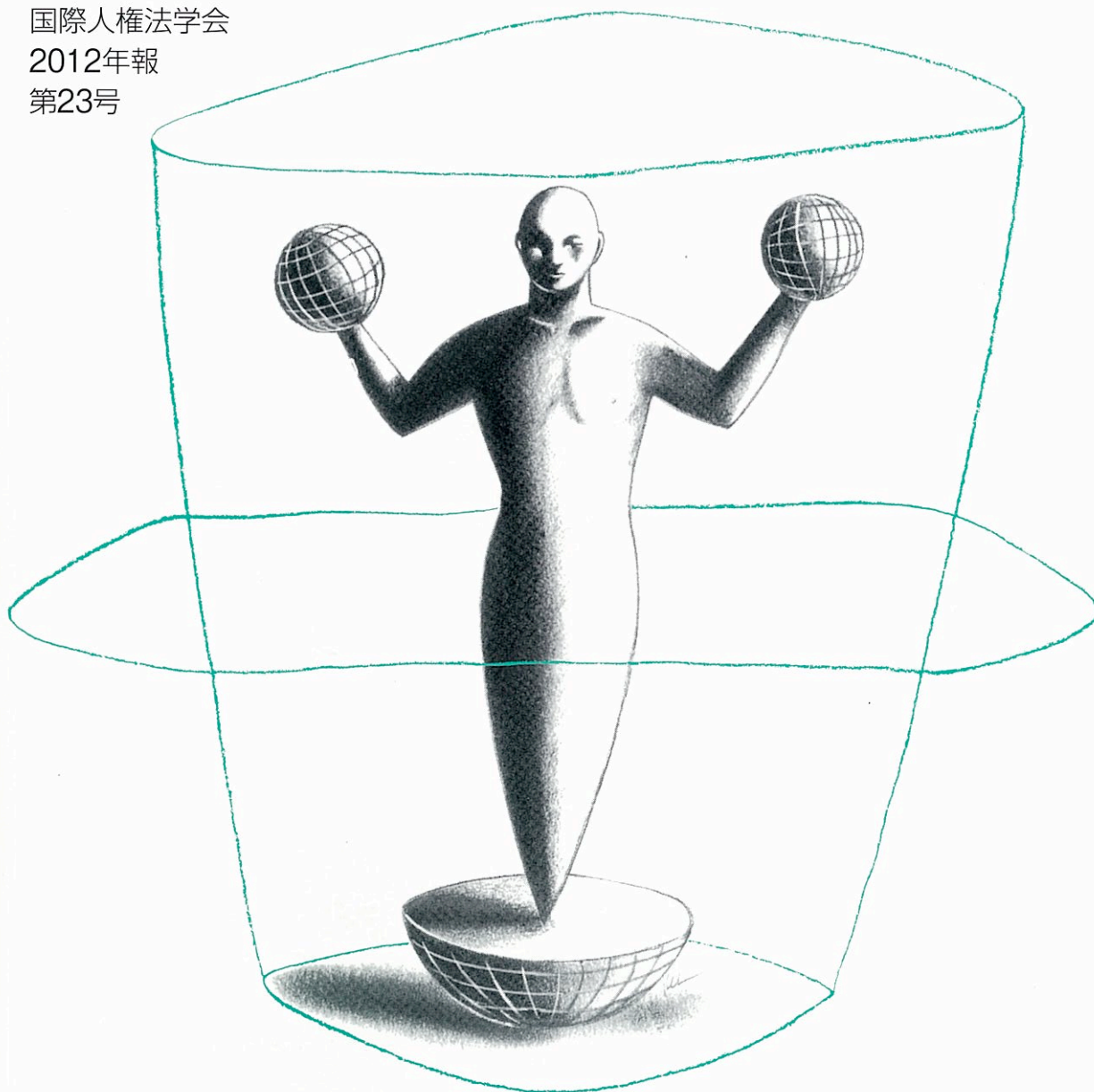


ISSN 0916-7188

# 国際人権

Human Rights International No.23

国際人権法学会  
2012年報  
第23号



信山社

〈論 説〉

差異における国際人権——EUの人権保障	大藤紀子 (3)
私人間効力論と「国際法」の思考様式——憲法学と国際法学の同床異夢	寺谷広司 (9)
国際的な子の奪取に関するハーグ条約と国際人権法	大谷美紀子 (16)

〈特集1 国内裁判所による人権救済と憲法上の人権・人権条約上の人権

——個人通報制度への参加を視野に入れて〉

・人権条約機関の判例・先例法理の検討

規約人権委員会による規約の発展的解釈と適用——個人通報制度における無差別 (2条1項, 3条及び26条)を例に	富田麻理 (24)
ヨーロッパ人権条約の解釈とその国内法的効力	門田 孝 (29)
人権条約における先住民族の土地に対する権利の展開——アイヌ民族の集団の権利考察 の一助として	小坂田裕子 (34)
座長コメント：条約機関の判断の意義	大森正仁 (42)

・日本の裁判所による人権救済と人権条約上の人権

二風谷ダム裁判と国際人権法の活用	田中 宏 (44)
司法審査における人権条約の位置——日独比較の観点から	宮地 基 (49)
国内裁判所における人権条約と個人通報制度——事実としての条約	作花知志 (56)
座長コメント	青柳幸一 (61)
総括コメント：憲法学の立場から	笹田栄司 (63)
総括コメント：行政法からみた自由権規約の国内実施	中川丈久 (65)

〈特集2 国際人権判例分析〉

「在特会」メンバー等による朝鮮学校の授業妨害訴訟——京都地裁 2011(平成 23)年 4月21日判決	江頭節子 (76)
「在特会」メンバー等による朝鮮学校の授業妨害訴訟・コメント——京都地裁 2011 (平成 23)年 4月 21日判決	山田健太 (80)
中津川市議会における障害者議員への差別事件——岐阜地裁 2010(平成 22)年 9月22日判決	西村武彦・秀嶋ゆかり (85)
中津川代議拒否事件1審と国際人権法・コメント——岐阜地裁 2010(平成 22)年 9月22日判決	川島 聡 (91)
国旗・国歌起立斉唱命令事件最高裁判決について——最高裁第2小法廷 2011(平成 23)年 5月30日判決・最高裁第1小法廷 2011(平成 23)年 6月 6日判決・ 最高裁第3小法廷 2011(平成 23)年 6月 14日判決等	水口洋介 (95)
国歌起立斉唱命令訴訟・コメント——最高裁第2小法廷 2011(平成 23)年 5月 30日判決・ 最高裁第1小法廷 2011(平成 23)年 6月 6日判決・最高裁第3小法廷 2011(平成 23)年 6月 14日判決	内野正幸 (99)

〈公募論文〉

自国企業に対する国家の域外的保護義務——社会権規約からの考察	菅原絵美 (100)
「国際協力による人権保障」に関する法的考察——国連人間の安全保障基金を例に	植田晃博 (106)

〈国際人権機関の活動〉

女性差別撤廃条約の個人通報「見解」のフォローアップ	林 陽子 (111)
市民的及び政治的権利に関する国際規約違反決定に対する裁判所及び政府の対応・ 韓国の場合	キム ヨンヘ(申 恵丰 訳) (116)
日本における人権条約の国内実施	高林宏樹 (121)

〈インタレストグループ報告〉

「先住民族の権利」研究	上村英明 (125)
国際刑事裁判所	寺中 誠 (125)
フェミニズム国際法学	近江美保 (126)